

ハワイ語の感情を表わす状態動詞

若林 由奈

(東アジア課程 モンゴル語専攻)

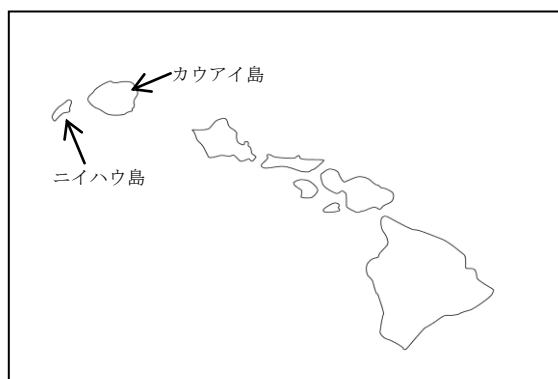
キーワード：ハワイ語, 状態動詞, 叙述用法, 限定用法

0. はじめに

ハワイ語には状態動詞が存在する。本稿は、感情を表わす状態動詞の使用形態を調査した塩谷(2009)を参考に、テキスト調査と2度のインフォーマント調査を実施した。本稿で用いる例文番号及び、状態動詞を示す下線、グロス、日本語訳は筆者による。ハワイ語は句読点を使用せず、文の区切れ目を記さないことがあるため、便宜上、前後に文が続く場合は文の始めと終わりにそれぞれ「...」を記すこととする。

0.1. ハワイ語とは

柴田(1992)によると、ハワイ語はかつて図1に示すハワイ諸島の全域で話されていた。以下に、岩崎(2011)にまとめられたハワイ語に関する記述を引用する。



ハワイ語は母音/a, e, i, o, u/ とその長母音/ā, ē, ī, ō, ū/, 子音/h, k, l, m, p, w, n, / (‘は声門閉鎖音を示す)で表記される。オーストロネシア語族東部ポリネシア語派に属し、孤立語、文は動詞文と名詞文に大別されるがいずれも「[述語] ±[主語] ±[目的語] ±[その他の要素]」という基本語順である。

(岩崎 2011: 91)

図1: ハワイ諸島略図(矢印及び島名は筆者加筆)

柴田(1992: 341)によると、現在ハワイ語を母語として話す人口は約500人程度で、ニイハウ島島民が同島の出身者である。後藤・松原・塩谷(2011)は伝統舞踊であるフラとハワイ語の関係を「あらゆる伝統文化を継承する重要な役割をフラは担っている。フラにとって必要不可欠なものはハワイ語の詩だ」と説明する。このように、ハワイ語にとって詩は重要であるため、本稿では詩に用いられるハワイ語を調査対象に加えた。ハワイ語の状態動詞に関して塩谷(2003)は、「日本語の動詞、形容詞、形容動詞はハワイ語では全て動詞のグループに含まれる。状態動詞とは事物の性質・状態を表わす動詞である。」(塩谷 2003: 8 要約)と説明する。

1. 先行研究

塩谷(2009)は、感情を表わす状態動詞の使用形態を4パターン(表1)にまとめた。引用内の表記(i-p), (ii-p), (i-a), (ii-a)は、本稿で用いる表記と統一させるため、順番に(叙述・抱) (叙述・原因) (限定・抱) (限定・原因) と表記した。

表1: 感情を表わす状態動詞に仮定される2つの用法と2つの意味

(叙述・抱)	「ある人が状態動詞によって示される感情を <u>抱いている</u> 」ことを意味し、 叙述用法 で用いられる場合
(叙述・原因)	「あるものが状態動詞によって示される感情を引き起こす <u>原因</u> となっている」ことを意味し、 叙述用法 で用いられる場合
(限定・抱)	「ある人が状態動詞によって示される感情を <u>抱いている</u> 」ことを意味し、 限定用法 で用いられる場合
(限定・原因)	「あるものが状態動詞によって示される感情を引き起こす <u>原因</u> となっている」ことを意味し、 限定用法 で用いられる場合

(塩谷 2009: 137)

それぞれのパターンに関する塩谷(2009)の説明を要約する。なお、引用内の参考文献(Fornander 1916-1917, Fornander 1918-1919, Wilson 1976)は、筆者未読である。

【叙述用法】 例1は、主語が状態動詞‘olu‘olu「快い」で表される感情を抱いている。例2は、主語が状態動詞‘olu‘oluで表される感情を引き起こす原因となっている。

例1) (叙述・抱)...‘olu‘olu iho la ‘o Kauhiakama...
comfortable DIR DEM PART Kauhiakama
「はじめて Kauhiakama はほっとした」 (Fornander 1916-1917: 351)

例2) (叙述・原因)a ua ‘olu‘olu ka noho ‘ana...
and PRF comfortable ART to live NMLZ
「そして暮らしは快いものになり」 (Fornander 1918-1919: 713)

【限定用法】 状態動詞 pilikia「面倒な」には、例3に示した2通りの意味がある。例4は、mea「もの」によって主語が‘olu‘olu「快い」で表される感情を抱いていることを意味する。(限定・抱)用法の例文は、塩谷(2009)では記載されていない。

例 3) (mea) pilikia の持つ 2 つの意味 (抱) ‘one who is in trouble’

(原因) ‘source of trouble’ (Wilson 1976: 127-8)

例 4) (限定・原因)

...a he mea ‘olu‘olu ia i kō ke Ali‘i mana‘o...

and NC.ART thing comfortable 3.SG PREP.in POSS ART chiefthought

「それは酋長の気持ちの中で快いものになった」 (Beckwith 1911-1912: 439)

(塩谷 2009: 135-136 を発表者が要約)

塩谷(2009)は、18 冊の書籍と 3 社の新聞記事を対象とし、4 パターンの使用頻度や偏りを調査した。状態動詞が名詞または副詞的に使用されている場合と、状態動詞が感情を表していない場合は分析対象から除外した。塩谷(2009)の調査結果を表 2 に引用する。叙述・限定用法のそれぞれにおいて頻度が多かった方を下線で示す。

表 2: 感情を表わす状態動詞の 4 パターン

	叙述・抱	叙述・原因	限定・抱	限定・原因
‘olu‘olu 快い、愉快的な	<u>30</u>	19	0	<u>20</u>
‘oli‘oli 嬉しい	<u>27</u>	0	1	<u>7</u>
le‘ale‘a 楽しい	<u>21</u>	4	0	<u>76</u>
hau‘oli 幸せな	<u>24</u>	0	0	<u>3</u>
kaumaha 悲しい	<u>10</u>	0	0	<u>16</u>
pū‘iwa 驚いた	<u>18</u>	0	0	<u>2</u>
weliweli 怖い	<u>7</u>	1	0	<u>20</u>

(塩谷 2009: 144)

塩谷(2009)は表 2 の結果から、「叙述用法では(叙述・抱)、限定用法では(限定・原因)の頻度が高い。叙述用法は【状態動詞によって示される感情を抱いている】の意味を、限定用法は【状態動詞によって示される感情を引き起こす原因となっている】の意味を担うことで、分業しているような形となっている。(塩谷 2009: 144 要約)」と述べている。

筆者が提起する塩谷(2009)への疑問点は以下の 3 点である。

疑問 1 分析対象としてハワイアン音楽の歌詞を用いても、同じ結果が得られるのか。

疑問 2 ‘olu‘olu では、(叙述・抱)30 例に対し(叙述・原因)も 19 例が確認されている。果たして、叙述用法と限定用法で担う意味が大きく異なり、分業しているといえるのか。

疑問 3 塩谷(2009)が例文をあげていない(限定・抱)用法は、文法的に使用可能であるのか。

2. テキスト調査

2.1. 調査目的および方法

疑問 1 を明らかにするため、調査を実施する。ハワイアン音楽の歌詞が 1001 曲掲載されている『ハワイアン・メレ 1001 曲ミニ全集』を使用する。塩谷(2009)が対象とした動詞に加え、塩谷(2003)で状態動詞と記されている 7 個の動詞(hilahila, hoihoi, hoka, huhū, manakā, minamina, nanea)を対象に加える。‘olu‘olu, ‘oli‘oli, le‘ale‘a は、Pukui and Samuel(1992)によると‘olu, ‘oli, le‘a の重複語であり意味は同じとされているので、対象に加える。状態動詞が名詞や副詞的に使用されている場合と、感情を表していない場合は分析対象外とした。

2.2. 調査結果と例文

表 3 に調査結果をまとめる。5 個の動詞(‘oli, hilahila, hoka, huhū, manakā)は 1 例も確認されなかったため、表 3 から除外する。叙述・限定用法それぞれにおいて、頻度が高かった方を四角で囲んで示す。各動詞の頻出合計数を比較し、頻出数の高い動詞から順に記す。

表 3: 感情を表わす状態動詞 4 パターンの分析結果

		叙述・抱	叙述・原因	限定・抱	限定・原因	合計数
nanea	くつろいだ	36	3	0	1	40
‘olu	快い	15	4	0	16	35
‘olu‘olu	快い	11	5	0	12	28
hau‘oli	幸せだ	18	1	0	5	24
le‘ale‘a	楽しい	4	2	0	4	10
le‘a	楽しい	3	1	0	2	6
kaumaha	悲しい	1	0	0	1	2
weliweli	怖い	1	0	0	1	2
hoihoi	興味深い	0	2	0	0	2
‘oli‘oli	嬉しい	1	0	0	0	1
pū‘iwa	驚いた	1	0	0	0	1
minamina	残念だ	1	0	0	0	1
合計数		92	18	0	42	152

(叙述・抱)

例 5) ...‘Olu‘olu ho‘i au i ka ‘ikena...

comfortable very 1.SG PREP.by ART view

「光景によって、私は本当に快い」 (鳥山 2009: 734/ Ku‘u Pua Kukui O Kamakou)

(叙述・原因)

例 6) ...Le‘ale‘a kanoho, ē...

pleasure ARTlife oh

「人生は楽しい」

(鳥山 2009: 787/ Lei Hāna I Ka Makani Ualau‘awa)

(限定・原因)

例 7) ...Ke kua weliweli ma ‘Eulapa...

ART warfearful PREP.in Europe

「ヨーロッパでの恐ろしい戦争」

(鳥山 2009: 1081/ Pelekāne)

2.3. テキスト調査のまとめ

塩谷(2009)とテキスト調査 1 のパターン別合計数を比較し、表 4 にまとめる。どちらも、叙述用法では(叙述・抱)、限定用法では(限定・原因)の頻出数が高い。従って、ハワイアン音楽の歌詞で使用されるハワイ語についても塩谷(2009)の分析結果が当てはまっている。

表 4: 塩谷(2009)と本稿によるテキスト調査のパターン別状態動詞合計数

	<u>叙述</u> ・ <u>抱</u>	<u>叙述</u> ・ <u>原因</u>	<u>限定</u> ・ <u>抱</u>	<u>限定</u> ・ <u>原因</u>	合計数
塩谷(2009)	137	24	1	144	306
本発表	92	18	0	42	152

3. インフォーマント調査 1

3.1. 調査目的および方法

筆者が提起した疑問 2 を明らかにするため、調査を実施する。インフォーマントへメールを通じ、アンケート調査を実施した。インフォーマントは 1986 年生まれの男性で、カウアイ島で生まれ育った。仕事場・自宅・学校でハワイ語を使用する。アンケートでは、英文を見せ、指定状態動詞を用いて同内容のハワイ語文を作成してもらった。1 つの状態動詞に対し、4 つの英文を提示した。例えば‘olu‘olu に対しては、次の 4 つの英文を作成した。括弧内は、英文から得られると予想した用法名である。

(叙述・抱) He is comfortable. (叙述・原因) Wind is comfortable.

(限定・抱) There are students being comfortable. (限定・原因) He loves comfortable wind.

3.2. 調査結果と例文

表 5 に分析結果をまとめる。筆者が予想した用法(最上段に示した)と同様であった場合は○を記す。異なる用法を使用した場合には、得られた用法名を括弧内に記す。指定単語が名詞的に使用されてしまった文は分析対象外とみなし、「×名詞的」と記す。

表 5: 調査 1 の分析結果

	(叙述・抱)	(叙述・原因)	(限定・抱)	(限定・原因)
‘olu‘olu 快い	○	○	(叙述・抱)	○
weliweli 怖い	×名詞的	○	×名詞的	×名詞的
hilahila 恥ずかしい	○	○	(叙述・抱)	○
hoihoi 興味深い	○	○	(叙述・抱)	○
hoka がっかりした	○	○	(叙述・抱)	○
huhū 怒った	○	○	(叙述・抱)	○
manakā 退屈だ	○	○	(叙述・抱)	○
minamina 残念だ	○	○	(叙述・抱)	○

例 8) (叙述・抱) Hoihoi ‘o ia i ka pā‘ani
 interesting PART 3.SG.she PREP.at ART game
 「彼女は、この試合に興味深い」
 “She is interested in the game.”

例 9) (叙述・原因) Minamina ka hopena
 regret ART result
 「この結果は残念である」
 “The result is regretful.”

例 10) (叙述・抱) He mau hāumana i hilahila
 NC.ART PL.many students REL embarrassed
 「恥ずかしがっている生徒たちがいる。」
 “There are students being embarrassed.”

例 11) (限定・原因) ‘O ka hopena huhū ia
 PART ART result angry this
 「これは、怒る結果である。」
 “It is the angry result.”

3.3. インフォーマント調査 1 のまとめ

インフォーマント調査 1 から得られた例文では、(叙述・原因)用法もある程度以上成立することが明らかになった。(限定・抱)用法は 1 例も抽出することが出来なかった。例 10 の

hilahila の場合、“There are students being embarrassed.” という英文から文を作成してもらったが、“being embarrassed” の形に影響されて関係節が使用された可能性がある。

4. インフォーマント調査2

4.1. 調查目的

筆者が提起した疑問3を明らかにするため、調査を実施する。さらに、(限定・抱)用法の文において、被修飾名詞が使用可否に影響を与えているのかも明らかにする。当初、テキスト調査1で得られた3文を(限定・抱)用法に分析していた。それら全ての被修飾名詞が「心」であったため、被修飾名詞の意味が使用可否に影響するのではないかと筆者は予想した。

4.2. 調査方法

調査 1 と同様のインフォーマントへアンケート調査を実施した。被修飾名詞を変えた文を見せ、使用可能かを判断してもらった。被修飾名詞に当てはめた名詞は次の 7 個である。
 pu'uwai:心, ohana:家族, kumu:先生, keiki:子供, au:私, kākou:私たち, Kimo:キモ(人名)

4.3. 調査結果

インフォーマントが使用可能と回答した被修飾名詞は「心、家族、子供、先生」の4個、文脈によっては使用可能と回答した被修飾名詞は「キモ(人名)、私たち」の2個、被修飾名詞を変化させれば使用可能と回答した被修飾名詞は「私」の1個である。

【被修飾名詞＝家族】

【被修飾名詞＝家族】

例 12) Me nā ohana ‘olu i Waikīkī.

PREP.with PL.ART family pleasant PREP.in Waikiki

「ワイキキ(地名) の爽やかな家族と共に」

【被修飾名詞＝人名】

【被修飾名詞＝人名】
 例 13) Me Kimo 'olu i Waikīkī.
 PREP.with Kimo pleasant PREP.in Waikiki
 「ワイキキ(地名)の爽やかなキモ(人名)と共に」

【被修飾名詞＝私】 ハワイ語において with を意味する前置詞 me の後では 1 人称の人称は au ではなく a'o に変化させなくてはならないことをインフォーマントに指摘された。

例 14) Me au 'olu i Waikīkī.
 PREP.with me pleasant PREP.in Waikiki
 「ワイキキ(地名)の爽やかな私と共に」

4.4. インフォーマント調査2のまとめ

提示した全文に対し、制限はあるものの使用可能であるとした。つまり、(限定・抱)用法はテキスト調査やインフォーマント調査1では確認されなかったが、文法的には使用可能であると示された。被修飾名詞を変えた文を作成したが、被修飾名詞に当てはめた全ての意味が使用可能であった。被修飾名詞は、使用の可否に影響しないことが予想される。

5. まとめと今後の課題

本稿の調査によって、ハワイアン音楽の歌詞やインフォーマントから得られたハワイ語においても、塩谷(2009)と同様に、(叙述・抱)(限定・原因)の使用頻度が高いことが示された。やはり、叙述用法では「状態動詞によって示される感情を抱いている」ことを意味する場合が多く、限定用法では「状態動詞によって示される感情を引き起こす原因となっている」ことを意味する場合が多いといえる。叙述用法では(叙述・抱)用法の頻出度が高いと言えるが、(叙述・原因)用法もある程度以上成立することが明らかになった。さらに、(限定・抱)用法は文法的に使用可能であることを示した。しかし、(限定・抱)用法の使用可否に影響する被修飾名詞の特徴は確認されなかった。(限定・抱)用法の文をより多く抽出するとともに、インフォーマントが「文脈によって使用可」と回答した文に対し、どのような文脈であれば使用可能であるかを明らかにすることが今後の課題である。

【略号一覧】 1, 3: 1st, 3rd person 1, 3 人称/ ART: article 冠詞/ DEM: demonstrative 指示詞/ DIR: directional 方向詞/ NC: neutral case marker 中立的格標識/ NMLZ: nominalizer 名詞化/ PART particle 小辞/ PL: plural 複数/ POSS: possessive 所有形/ PREP: preposition 前置詞/ PRF: perfective 完了/ REL: relative 関係詞/ SG: singular 単数

【日本語で書かれた参考文献】岩崎加奈絵 (2011) 「ハワイ語特殊動詞群の位置付けに関する考察ー『理解しやすい』記述体系を目指してー」『東京大学言語学論集第31号』 91-100. 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部言語学研究室 / 後藤明・松原好次・塩谷亨 (2011) 『ハワイ研究への招待ーフィールドワークから見える新しいハワイ像ー』兵庫: 関西学院大学出版会 / 鳥山親雄 (2009) 『ハワイアン・メレ 1001 曲ミニ全集』横浜: 文踊社 / 塩谷亨 (2003) 『ハワイ語文法の基礎』東京: 大学書林 / 塩谷亨 (2009) 「ハワイ語の感情を表わす状態動詞の叙述用法と限定用法」『北海道言語文化研究(7)』 135-146. 北海道言語研究会 / 柴田紀男 (1992) 「ハワイ語」 亀井孝・河野六郎・千野栄一編『言語学大辞典 第3巻 世界言語編 下-1』 341-344. 東京: 三省堂【英語で書かれた参考文献】 Beckwith, Martha W. (1911-1912) *The Hawaiian Romance of Laieikawai* U.S. Bureau of American Ethnology Thirty-third Annual Report. 285-677. Washington D.C. / Fornander, Abraham. (1916-1917) *Fornander Collection of Hawaiian Antiquities and Folk-Lore vol. IV*. Honolulu: Bishop Museum Press. / Fornander, Abraham. (1918-1919) *Fornander Collection of Hawaiian Antiquities and Folk-Lore vol. V*. Honolulu: Bishop Museum Press. / Pukui, Kawena Mary and Samuel H. Elbert (1992) *New pocket Hawaiian dictionary with a concise grammar and given names in Hawaiian*. Hawaii: University of Hawaii press Honolulu. / Wilson, William H. (1976) *The o/a Possessives Markers in Hawaiian* MA dissertation. University of Hawaii.

【ハワイ諸島略図】「ハワイの白地図専門店」 http://www.freemap.jp/download.php?a=north_america&c=usa_hawai_1 (最終閲覧日 9/26/2013)